

上手な医療のかかり方 プラス! ～医療費の節約術～

日頃から適切な医療のかかり方を意識していただくことで、医療費の節約や医療の現場を守ることができます。

活用できるものは積極的に取り入れて、医療費の削減にご協力をお願いします。

お得 1 ジェネリック医薬品を活用しましょう

後発医薬品(ジェネリック医薬品)とは、先発医薬品の特許が切れた後に製造販売される、先発医薬品と同じ有効成分を同量含み、同等の効き目があると認められた医薬品です。

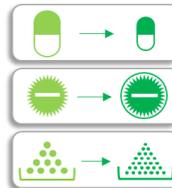
開発費が抑えられているため、新薬と比べて一般的に価格が安くなっています。

病気や体質などによって、効き目や副作用などが異なる場合がありますので、切り替えたいときは医師や薬剤師にご相談ください。



ジェネリック医薬品の工夫

- 飲みやすく … 小型化
- 苦みの軽減 … コーティング
- ざらつきの軽減 … 粒子を小さく



お得 2 バイオ後続品(バイオシミラー)を活用しましょう

バイオテクノロジーを応用して、微生物や細胞が持つたんぱく質(ホルモン、酵素、抗体等)等を作る力を利用して製造した医薬品をバイオ医薬品といいます。

バイオ後続品(バイオシミラー)とは、最初につくられたバイオ医薬品の特許が切れた後に製造販売される、バイオ医薬品と同等・同質の品質、安全性、有効性が確認された医薬品です。

先行するバイオ医薬品より低価格なため、医療費や家計の負担軽減につながります。



バイオ後続品の例

- 糖尿病治療薬 インスリングルルギン BS 注
- がん治療薬 リツキシマブ BS 点滴静注
- 関節リウマチ治療薬 インフリキシマブ BS 点滴静注

お得

3

リフィル処方せんを活用しましょう～新しい薬の受取り方～

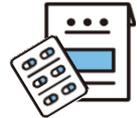
リフィル処方せんとは、医師が定めた期間内に同じ処方せんで最大3回まで繰り返し使える処方せんのことです。

病状が安定しているなど医師が認めた場合には、処方せんの「リフィル可」の欄にチェックが入ります。その処方せんに、使用できる回数(2回または3回)が記載されます。



リフィル処方せんのメリット

- **通院の負担**を軽減: 再診なしで薬を受け取ることができるため、通院時間や診療の待ち時間を減らすことができます。
- **医療費**を削減: 受診回数が減ることで、医療費や交通費の削減につながります。



リフィル処方せん

処方箋 (この処方箋は、どの保険薬局でも有効です。)	
公費負担番号	保険者番号
公費負担医療の受給者番号	被保険者証・被保険者手帳の記号・番号
氏名	保険医療機関の所在地及び名称
生年月日	電話番号
区分	保険医氏名
交付年月日	都道府県番号
必要不可(医療上必要)	患者希望
	リフィル処方箋の場合、「可」にレ点が入り、適用回数が記入される。
	例: <u>リフィル可</u> <input checked="" type="checkbox"/> (3回)
	リフィル可 <input checked="" type="checkbox"/> (3回)

Q リフィルとは？

A 詰め替えの意味

3回使えるリフィル処方せんの場合



リフィル処方せんで注意することは？

- ★リフィル処方せんが使えない薬があります。
(湿布薬、投薬量に制限のある向精神薬、新薬などの医薬品)
- ★医師の判断によっては、リフィル処方せんを発行できない場合があります。
- ★使い終わったリフィル処方せんは薬局で回収されます。回収後に薬を受け取る場合は、再度医師の診察が必要です。

